

ナンバリング	B⑥02	科目名	卒業演習 「病気・障害のある子どもの発達について考えるⅡ」		担当教員	久保 瑠子	
ディプロマポリシーとの関連性	①・③・④		担当形態	単独			
テキスト	必要に応じて資料配布			単位数 授業形態	2単位 演習	開講時期	後期
<p>講義概要</p> <p>■到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病気・障害のある子どもの発達を知ることを通して、子どもの発達の多様性について柔軟に考察できる。 ・病気・障害のある子どもの発達を支える（病棟）保育士の役割を知ることを通して、保育士という職業の専門性について改めて考え、自らの職業選択につなげる。 ・卒業レポートを執筆する。 <p>■授業の概要</p> <p>専門総合演習から引き続き、病院や療育施設での保育ボランティアを行います（後期のボランティア先はゼミ生と相談しながら決定します）。病気・障害のある子どもの遊びや発達、それを支える（病棟）保育士の役割を知ることを通して、乳幼児期における遊びの重要性、そして保育士という職業の専門性について改めて考え、職業選択につなげていきます。また、授業を行う中で発見した課題をより深く追及する為に、関連する図書・映像を見ます。そして、最終的に自らが選んだテーマについて卒業レポートを執筆します。</p> <p>■授業計画</p> <p>第1回 オリエンテーション 卒業レポートについて 第2回 卒業レポートのテーマの選考 第3回 病院・療育施設における保育ボランティア① 第4回 振り返り（レポート読み合わせ）① 第5回 振り返り（レポート読み合わせ）② 第6回 病院・療育施設における保育ボランティア② 第7回 振り返り（レポート読み合わせ）① 第8回 振り返り（レポート読み合わせ）② 第9回 卒業レポートに向けた課題の確認① 第10回 卒業レポートに向けた課題の確認② 第11回 卒業レポートに向けた課題の確認③ 第12回 病気は子どもの発達に影響するのか（まとめ①） 第13回 病気は子どもの発達に影響するのか（まとめ②） 第14回 ゼミ内での卒業レポートの発表 第15回 学びの成果発表会</p> <p>■準備学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育ボランティアでは、「ねらい」を持って臨むこと。 ・保育ボランティア終了後、レポートを期限内に提出すること。 ・積極的にレポートの読み合わせに参加すること。 ・卒業レポートのテーマ選考に向けて、図書・映像・ワークショップ等のツールを積極的に使い、自らの課題を明確にすること。 <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育ボランティアへの参加とレポートの内容 — 30% ・討論、レポートの読み合わせへの積極的な参加 — 30% ・卒業レポート — 40% 							
参考文献	授業中に適宜示します。			特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・授業外の時間に保育ボランティアに行く可能性があります。 ・病院・療育施設への交通費・ワークショップ等への参加費は、個人負担となります。 <p>【課題等へのフィードバック方法】 レポートにはコメントを書き加え返却します。</p>		
卒業・免許状・資格との関連	卒業必修			幼保			
実務経験のある教員等による授業内容							